



この地域は、成田市の中央部に位置する根木名川の中～下流、十日川の中流で、根木名川下流域と同じように、ほとんどが水田として利用されており、開放的な水辺空間が広がっています。根木名川や十日川の水辺には、ヨシ、マコモなどが生育しており、水田周辺には水田雑草群落も広く分布しています。



セイタカアワダチソウが広がる休耕田



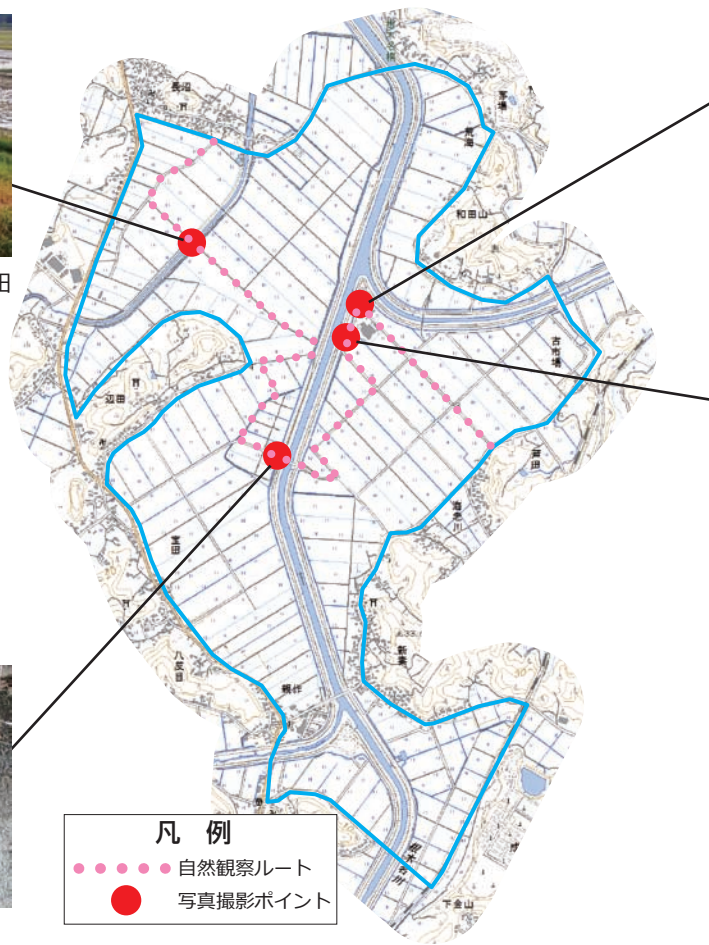
アズチグモ



タヌキが多く溜め糞も見られる

ねこながわちゅう かりゅういき
2. 根木名川中～下流域

水辺が丘陵地に接した環境であり、樹林地に接した水辺を好むトンボやチョウの仲間が多く生息しています。また、水田で鳴いているシュレーゲルアオガエルもよく見られます。サギやシギ、カモの仲間やホオジロの仲間など草地を餌場などに利用する鳥類が多く見られ、水田や周辺の樹林地などで餌を採る姿を見ることができます。また、根木名川や十日川の土手ではモグラ塚も見ることができます。



凡例
 ● ● ● ● ● ● 自然観察ルート
 ● 写真撮影ポイント



芦田排水機場



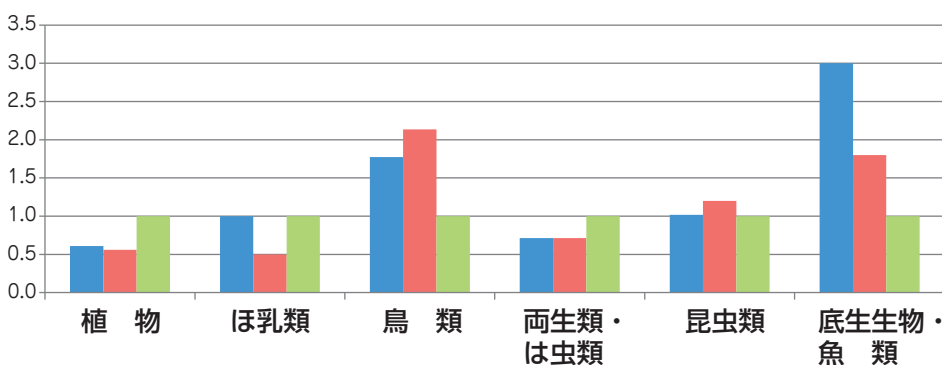
水路沿いにヨシが生育



ハチに擬態するセスジスカシバ

この地図は、国土地理院の電子地図25000『成田』、『下総滑川』を使用したものである。

確認種の推移



■ 第1次調査
 ■ 第2次調査
 ■ 第3次調査

第3次調査時の確認種数を1.0とする。

第1次調査：平成5・6年度に水辺調査、平成7・8年度に陸域調査

第2次調査：平成14年度に水辺調査、平成15年度に陸域調査

第3次調査：平成26・27年度に動植物生息調査